（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　ＳＡＬＡ			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　3月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	12件	（回答者数）	5件
○従業者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　3月　1日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人一人の特性や発達段階、日々の様子を丁寧に把握し、個別支援計画に反映させています。	保護者との面談や日々の連絡を通して、ご家庭での様子や困りごとも共有しながら事業所と家庭が連携した支援を大切にしています。活動内容やスケジュールについても、無理のないペースで安心して取り組めるよう工夫しています。	今後は、より具体的でわかりやすい支援目標の設定や、支援内容の共有をさらに充実させていきます。また、保護者との面談や情報共有の機会を増やし、ご家庭とより密に連携しながら、利用者の成長を支えていけるよう努めていきます。
2	日々の消毒や清掃を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境づくりを行っています。	手指消毒や衛生管理についても職員が意識して取り組み安全で清潔な環境を維持しています。	引き続き衛生管理を徹底するとともに、季節や感染症の状況に応じた対策を行っていきます。
3	すてむぼっくすのプログラミング学習などの活動を通して、楽しみながら考える力や想像力を育てることを大切にしています。	一人一人の理解度やペースに合わせて取り組めるよう支援し、成功体験を積み重ねられるよう関わっています。また、活動を通して協調性や集中力、達成感が得られるよう、環境調整やスケジュールを工夫しています。	今後は、利用者の興味や発達段階に応じ、活動内容の幅を広げていきます。また、活動の成果や取り組みの様子を保護者にもわかりやすく伝え、家庭でも共有できるような工夫を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	利用者一人一人に合わせた個別支援や事業所内での活動を大切にしているため、外部施設との交流が限られている状況があります。また、利用者が安心して過ごせる環境づくりを優先する中で、外部との関わりの機会が少なくなっている面もあります。	利用者の特性や安全に配慮しながら、無理のない範囲で地域の児童館や感性機関との交流の機会を検討していきます。小規模な関わりから段階的に取り入れることで、地域とのつながりを広げていけるよう取り組んでいきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等、保護者同士の交流の機会や、保護者が参加できる研修の機会などを設けていない。	現在は個別面談や日々の連絡を中心に、保護者との一対一の関わりを大切にしている為、保護者同士の交流や集団での研修機会の提供が十分ではない状況があります。また、保護者の方のそれぞれの生活スタイルに配慮する中で、全体で集まる機会を設けることが難しい面もあります。	今後は保護者のご負担にならない形で、希望制の交流機会や情報共有の場の設定を検討していきます。また、資料の配布やオンライン等も活用しながら、支援に役立つ情報を提供できる機会を増やしていきたいと考えています。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業所運営がなされていない。	現在は、利用者が安心して過ごせる環境の維持や、日々の支援の充実を優先しているため、地域住民を招いた行事や地域への発信の機会十分ではない状況があります。	今後は、事業所の活動内容を地域に知っていただけるよう、無理のない形で情報発信や交流の機会を検討していきます。利用者の安全を最優先にしながら、段階的に地域とのつながりを広げていけるよう取り組んでいきます。

保護者等向け　**放課後等デイサービス評価表**

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75%	25%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	5%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	35%	65%		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%			
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	45%	45%	
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75%	25%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		40%	60%	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	95%	5%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	5%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30%	50%	20%	
	14	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	90%	10%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	95%	5%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	18	事業所の支援に満足しているか	95%	5%		

【札幌事業所】 令和７年度放課後等デイサービス評価表・自己評価表について

環境・体制整備

【改善目標】

・利用者の状況により、手すりなどの設置が必要な場合は随時検討していく。

【工夫している点】

・利用者の安全を常に考え、職員の配置やスペースの確保を行なっている。

業務改善

【改善目標】

・PDCA サイクルに広く従業員が参画できるような体制を整える。（ミーティングで積極的に話すなど）

【工夫している点】

・週１回のミーティングを開催し、業務の進捗を共有している。

適切な支援提供

【改善目標】

・今回のアンケートにより、ご満足いただけていることがわかったので、維持できるように努める。

【工夫している点】

・成長に合わせてプログラムを変更している。

・プログラミング学習すてむぼっくすのカリキュラムを取り入れている。

・支援計画のために訪問しわかるように説明をしている。

保護者への説明等

【改善目標】

・SNS での発信を保護者の悩みに合わせた発信を提供できるようにする。

【工夫している点】

・SNS を利用し、保護者との距離感がないようにしている。

・送迎時に口頭で話をして更に連絡帳でも説明している。

・保護者の方が使いやすい LINE でのやり取りを取り入れている

非常時の対応

【改善目標】

・新規契約者様にもわかりやすいように、誰でも伝えられるようにする。

【工夫している点】

・定期的な避難訓練を行なっている。

満足度

【改善目標】

・今回のアンケートでは満足度が高かったため、現状維持できるように努める。

【工夫している点】

・それぞれの利用者に合った支援を行い、スタッフ同士でもより良いサービスができるよう、お互いに声を掛け合う。